

## ■子どものころ専門医研修システムの概要■

家庭や学校などから広く子どもの置かれた状況を捉え、小児科医療機関や行政機関とも連携し、こころに問題をかかえた子どもたちを支えることができる専門医を育成します。

### 松原病院子どものころ専門医研修施設群

2026年4月より子どものころ専門医研修施設の基幹病院となりました。

○松原病院（基幹施設）： 児童精神科について、下記協力機関と連携しながら精神科救急入院医療、専門外来、デイケアを中心に診療を行っています。また院内学級の整備も進めています。

○石川療育センター： 精神科医、小児科医の所属する児童施設で、外来診療のほか療育に係る経験を得ることができます。

○金沢子どものころ医療福祉センター／医王病院：小児科医療を行う医療機関で、当院の児童精神科医療と相互に事例検討やコンサルをすることで、科を超えた医学的見地を身に着けることができます。

○石川県中央児童相談所・金沢市児童相談所：問題を抱える子どもたちをサポートします。行政としての対応や行政からのフォローについて経験できます。

#### 《子どもを取り巻く環境》

- ・過度な情報に囲まれ、子どもたちは窮屈で不安定な状態に置かれています。

情報が溢れる時代にあって、現代の価値観の多様化や目標が定まらないことに加えて、子供たちは安心感や信頼関係の大切さを、あまり実感できずに児童期思春期を過ごす人が増えています。そのような子どもの内面は窮屈で不安定な状態に置かれていると考えられます。

#### 《子どもたちへの切れ目のないフォローアップ》

- ・家庭のあり方も社会変化により変容し、時代に合わせたフォローアップが求められています。

現代は家庭のあり方も多様化し、子供の成長の過程で十分な関わりがなされない環境が発生しており、こころの成長が不幸にも若年の段階で人生を終えることさえあります。それぞれの年代にふさわしい養育環境が全ての子どもに十分に、切れ目なく提供します。

#### 《将来を予測した支援》

- ・成長し続ける子どもたちには、常に何年か先を見据えた支援が必要です。

子どもは常に成長しており、年齢相応の発達・成長が期待されます。子どもたちの発達の変化を見極めるには2、3年先を予測してそこへの道筋を描く必要があります。子どもたち個々が置かれた背景を十分に評価した上で、常に何年か先を想定した支援を行います。

#### 《行政、学校との連携》

- ・家庭、学校だけでなく行政との連携も重要です。

子どもを理解する上でどこをサポートすれば良いかなど、家庭と学校だけではなく、行政機関など複数の情報を活用することでより正確に対応することが出来ます。

#### 《小児科と精神科の協働》

- ・小児科との連携で新たな小児医療を築きます。

子どもたちが精神科、特に児童精神科の医療機関に繋がる場合、目的は問題行動に対処がほとんどです。一方で、身体的発達の過程については小児科医がほぼ網羅しますが神経発達症や心理的課題に伴う対応は小児科医だけで完全にカバーすることは困難で、その結果小児期医療にエアポケットが生じています。小児科医と児童精神科医がそれぞれの診療経験、治療ツールを元に協働します。

## 子どものこころ専門医研修プログラム

|      |  |
|------|--|
| 応募資格 | 子どものこころ専門医資格の取得を目指す方で、精神保健指定医、精神神経学会精神科専門医を取得されている(または近日中取得見込み)方               |
| 雇用形態 | 正職員  |
| 勤務時間 | 8:30～17:00<br>当直:月に3回程度、日直2か月に1回程度   |
| 休日   | 年間123日   |
| 基本給  | 年俸制 1,350万円(指定医手当含む)(経歴により変更あり)<br>(当直手当、オンコール代、夜間呼出手当、その他の臨時収入を除く)            |
| 待遇   | 各種社会保険完備、車通勤可、交通費支給、制服貸与、夏期休暇、<br>その他福利厚生完備                                    |
| その他  | 遠方からの見学者へ交通費等支給(当院規程)<br>オンラインでのご説明、面談にもご対応いたします<br>支度金制度有 100万円を上限とした規程に基づき支給 |